

東京外環自動車道

八潮地区標識詳細設計

特記仕様書

令和 6 年 10 月

東日本高速道路株式会社

関東支社　さいたま工事事務所

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 東京外環自動車道 八潮地区標識詳細設計

1-1-2 路線名 常磐自動車道 東北自動車道 関越自動車道 東関東自動車道 京葉道路

1-1-3 履行箇所 東京外環自動車道 自) 東京都練馬区 至) 千葉県市川市 東北自動車道 自) 埼玉県川口市 至) 埼玉県久喜市 関越自動車道 自) 東京都練馬区 至) 埼玉県川越市 常磐自動車道 自) 埼玉県三郷市 至) 茨城県つくば市 東関東自動車道 自) 千葉県市川市 至) 千葉県千葉市 京葉道路 自) 千葉県市川市 至) 千葉県千葉市

1-1-4 主な履行内容

標識柱設計	門型標識	2基
標識柱設計	バタフライ型標識	1基
標識柱設計	片持型標識	1基
標識柱設計	警戒標識	1基
レイアウト作成	A	3枚
レイアウト作成	B	1枚
レイアウト作成	C	1枚
レイアウト作成	D	1枚

レイアウト作成	E	1 枚
レイアウト作成	F	1 枚
レイアウト作成	G	1 枚
標識構造物照査	標識柱（門型）A	1 基
標識構造物照査	標識柱（門型）B	1 基
標識構造物照査	標識柱（門型）C	1 基
標識構造物照査	標識柱（門型）D	1 基
標識構造物照査	標識柱（逆 L 型）A	1 基
標識構造物照査	標識柱（遮音壁片持型）A	1 基
標識構造物照査	柱基部アンカー A	11 組
標識構造物照査	柱基部アンカー B	1 組
標識構造物照査	柱基部アンカー C	1 組
既設構造物照査	A	7 箇所
既設構造物照査	B	1 箇所
既設構造物照査	C	1 箇所
既設構造物照査	D	2 箇所
平面図作成		6.4km
設計協議説明用図面作成	A	6 枚
設計協議説明用図面作成	B	2 枚
図面修正	A 1	5 枚
図面修正	A 2	5 枚
図面修正	A 3	10 枚

1－2 適用する共通仕様書

契約書第 1 条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和 6 年 7 月版とする。

1－3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1－1 2－4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 1 0 0 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- （１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内
- （２）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内
- （３）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から390日間

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間

1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1及び5-2-3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中の調査等業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

1-5-1 報告書

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
報告書	令和4年度 東京外環自動車道 八潮地区標識基本設計	契約締結の日の 翌日より7 日以内	電子成果品
標識台帳	三郷管理事務所管内標識台帳		写し（電子）
標識台帳	所沢管理事務所管内標識台帳		写し（電子）
標識台帳	加須管理事務所管内標識台帳		写し（電子）
標識台帳	谷和原管理事務所管内標識台帳		写し（電子）
標識台帳	千葉管理事務所管内標識台帳		写し（電子）

八潮PAランプ橋 構造図	東京外環自動車道 八潮地区橋梁設計検討業務		写し（電子）
	東京外環自動車道 八潮入谷地区橋梁修正設計検討業務		写し（電子）
	東埼玉道路 八潮地区橋梁設計検討業務		写し（電子）

1-5-2 完成図・設計報告書

貸与資料	標識区分	橋梁名称 (東京外環自動車道)	上部工		貸与予定日	備考
			構造図	設計 計算書		
完成図・ 設計計算書	外回り 2km	中根高架橋 (KP24.2)	○	○	契約締結の 日の翌日より 7日以内	写し (電子)
	外回り 1km	八幡高架橋 (KP25.1)	○	△		写し (電子)
	外回り 500m	青柳高架橋 (KP25.6)	○	○		写し (電子)
	外回り 行動点	青柳高架橋 (KP25.9)	○	○		写し (電子)
	外回り 分岐点	青柳高架橋 (KP26.1)	○	—		写し (電子)
	内回り JCT 案内	八幡高架橋 (KP24.8)	○	○		写し (電子)
	内回り 分岐点	八潮西高架橋 (KP26.5)	○	○		写し (電子)
	内回り 行動点	八潮西高架橋 (KP26.7)	○	○		写し (電子)
	内回り 500m	八潮橋 (KP27.0)	○	○		写し (電子)
	内回り 1km	中川橋 (KP27.5)	○	○		写し (電子)
	内回り 2km	三郷西高架橋 (KP28.0)	○	—		写し (電子)

※上表において、○は貸与する資料があること、△は支間割の異なる設計計算書のみあることを表す。

1-5-3 基準類

貸与資料	貸与予定日	備考
高速道路付属物の二重の安全対策設計・施工暫定要領(H27.7)	契約締結の日の翌日より7日以内	

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の工事・調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

工事名	履行期間	受注者	発注機関	備考
東京外環自動車道 八潮パーキングエリアランプ橋（鋼上部工）南工事	2023年6月8日～ 2029年3月7日	IHI・横河 東京外環自動車道 八潮パーキングエリアランプ橋（鋼上部工）南工事特定建設工事共同企業体	東日本高速道路㈱	
東京外環自動車道 八潮パーキングエリアランプ橋（鋼上部工）北工事	2024年6月14日～ 2031年1月8日	IHI・横河 NS 東京外環自動車道 八潮パーキングエリアランプ橋（鋼上部工）北工事特定建設工事共同企業体	東日本高速道路㈱	

1-7 部分使用

共通仕様書1-36「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
標識柱設計 門型標識及びバタフライ型標識の計算書及び設計図	2025年6月30日	別途橋梁設計で使用するため

1-8 計画行程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式一1）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものと

する。

計画工程表は本特記仕様書 1－5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1－9－3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別		項目	備考
標識設計	標識詳細設計	標識柱設計	
		レイアウト作成	
		標識構造物照査	
		既設構造物照査	
		平面図作成	
		設計協議説明用図面作成	
		工事発注用数量表作成	

1－8－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1－4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－2 2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1－1 0 工事記録情報の作成及び提出について

（1）共通仕様書 1－4 4－1「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 5 年 7 月版とする。

（2）受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式－3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

（3）工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱関東支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1－11 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、(仮称)外環八潮パーキングエリア（以下「八潮P A」）及び東埼玉道路専用部の供用にあたり必要となる本線及び連絡等施設の標識柱設計及び標識板のレイアウト作成を行うものである。

上記設計にあたっては、新設標識柱の設計及び既設標識柱の標識板取替に伴う既設構造物（標識柱・梁・基礎、橋梁上部工等）の設計照査を行った上で、施工に必要な施工計画及び協議資料を作成するものとする。

なお、設計にあたっては調査等共通仕様書5-9「標識設計」を適用する。

2-2 標識柱設計

(1) 定義

標識柱設計とは東京外環自動車道本線橋及び八潮P Aランプ橋に設置する標識設計（設計計算、数量計算、図面作成）を行うもの。

(2) 種別

標識柱設計の単価表の項目は、下表のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
門型標識	八潮P Aランプ橋（Bランプ、Dランプ及び鋼製橋脚）に新設する門型標識柱の設計を行う。設計範囲は梁、柱、柱基部アンカーとする。
バタフライ型標識	八潮P Aランプ橋に新設するバタフライ標識柱の設計を行う。設計範囲は梁、柱、柱基部アンカーとする。
片持型標識	東京外環自動車道(内回り_KP29.2)に新設する片持型標識柱の設計を行う。設計範囲は梁、柱、柱基部アンカー、コンクリート基礎、基礎杭とする。
警戒標識	壁高欄（側面付け）に新設する警戒標識柱の設計を行う。設計範囲は柱、柱基部アンカーとする。

(3) 検測数量

標識柱設計の検測数量は設計基数（基）とする。

2-3 レイアウト作成

(1) 定義

レイアウト作成とは東京外環自動車道本線、八潮P A及び東埼玉道路専用部の新設に伴い設置する標識板のレイアウトを作成するもの。

(2) 種別

レイアウト作成の単価表の項目は、下表のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
A	ジャンクション案内標識 1.10×6.60 の標識板レイアウトを作成するもの。
B	休憩施設案内標識 0.90×5.70 の標識板レイアウトを作成するもの。
C	地点案内標識 0.90×1.20 の標識板レイアウトを作成するもの。
D	地点案内標識 1.90×1.20 の標識板レイアウトを作成するもの。
E	インターチェンジ標識 1.20×2.00 の標識板レイアウトを作成するもの。
F	料金所案内標識 0.60×2.00 の標識板レイアウトを作成するもの。
G	規制・警戒標識 0.75×0.75 の標識板レイアウトを作成するもの。

※標識板の寸法は変更する場合がある。

(3) 検測数量

レイアウト作成の検測数量は図面枚数（枚）とする。

2-4 標識構造物照査

(1) 定義

標識構造物照査とは既設標識柱への標識板新設及び取替に伴う荷重等に対して既設標識柱と梁及び柱基部アンカーの照査を行うもの。

(2) 種別

標識柱照査の単価表の項目は、下表のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
標識柱（門型）A	東京外環自動車道(外回り_KP24.2)における門型標識柱（梁及び柱）の耐力照査を行うもの。
標識柱（門型）B	東京外環自動車道(内回り_KP27.5)における門型標識柱（梁及び柱）の耐力照査を行うもの。
標識柱（門型）C	東京外環自動車道(外回り_KP26.1)における門型標識柱（梁及び柱）の耐力照査を行うもの。
標識柱（門型）D	東京外環自動車道(内回り_KP24.8)における門型標識柱（梁及び柱）の耐力照査を行うもの。
標識柱（逆L型）A	東京外環自動車道(外回り_KP1.8)における逆L型標識柱（梁及び柱）の耐力照査を行うもの。
標識柱（遮音壁片持型）A	東京外環自動車道(外回り_KP23.3)における遮音壁片持型標識柱（梁及び柱）の耐力照査を行うもの。
柱基部アンカーA	標識柱（門型）の柱基部アンカーの耐力照査。

柱基部アンカーB	標識柱（逆L型）の柱基部アンカーの耐力照査。
柱基部アンカーC	東京外環自動車道(外回り_KP23.3)における標識柱（遮音壁片持型）の柱基部アンカーの耐力照査。

(3) 検測数量

標識柱照査標識柱の検測数量は照査基数（基）とし、標識柱柱基部アンカーの検測数量は照査組数（組）とする。

2-5 既設構造物照査

(1) 定義

既設構造物照査とは標識板の取替等に伴う標識荷重に対して既設橋梁の床版及びブラケットの耐力照査を行うもの。

(2) 種別

既設構造物照査の単価表の項目は、下表のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
A	東京外環自動車道(外回り_KP24.2、KP25.9、KP26.1 及び内回り_KP26.5、KP26.7、KP27.5、KP28.0)における既設橋梁の床版及びブラケットの耐力照査を行うもの。(鋼橋、RC床版)
B	東京外環自動車道(外回り_KP25.6)における既設橋梁の床版及びブラケットの耐力照査を行うもの。(鋼橋、I型鋼格子床版)
C	東京外環自動車道(内回り_KP27.0)における既設橋梁の床版及びブラケットの耐力照査を行うもの。(鋼橋、鋼床版)
D	東京外環自動車道(外回り_KP25.1 及び内回り_KP24.8)における既設橋梁の床版耐力照査を行うもの。(PC橋、PC床版)

(3) 検測数量

既設構造物照査の検測数量は照査箇所数（箇所）とする。

2-6 平面図作成

平面図作成とは、共通仕様書5-9-1「基本設計」(4)平面図作成に従って、八潮PA及び東埼玉道路の完成に伴う本業務の標識を対象とした平面図を作成することをいい、平面図作成の単価表の項目は下記のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
平面図作成	八潮PA及び東埼玉道路完成時の八潮JCTランプ、東京外環自動車道の標識平面図を作成するもの。

2-7 設計協議説明用図面作成

設計協議説明用図面作成とは、共通仕様書 5－5－4 及び監督員の指示に従って、標識構造物の設置に必要な施工計画図及び規制協議用図を作成することをいい、設計協議説明用図面作成の単価表の項目については下記のとおりとする。

単価表の項目	区分内容
A	<p>東京外環自動車道に設置する標識構造物の施工計画（標識柱、標識板設置及び標識板取替の施工計画図、規制協議用図）を作成するもの。</p> <p>施工計画図：4 枚</p> <p>内訳：門型標識 2 枚（内回り_KP26.5）、遮音壁片持型標識 1 枚（外回り_KP23.3）、片持型標識 1 枚（内回り_KP29.2）</p> <p>規制協議用図：2 枚</p> <p>内訳：走行車線規制 1 枚、追越車線規制 1 枚</p> <p>【難易度：普通】</p>
B	<p>関越自動車道の休憩施設案内標識取替の施工計画（施工計画図、規制協議用図）を作成するもの。</p> <p>施工計画図：1 枚</p> <p>内訳：片持型標識（KP16.6）1 枚</p> <p>規制協議用図：1 枚</p> <p>内訳：走行車線規制：1 枚</p> <p>【難易度：普通】</p>

2－8 図面修正

図面修正とは、共通仕様書 5－1 1－1 及び監督員の指示に従って、施工計画図や規制協議用図の修正を行うことをいい、図面修正の単価表の項目については下記のとおりとする。

単価表の項目	内 容
A 1	<p>設計協議説明用図面作成 B で作成した規制協議用図を基に、東京外環自動車道_内回り KP47.8、東北自動車道_KP20.1、常磐自動車道_KP20.2、京葉道路_KP20.0 及び東関東自動車道_KP11.5 のジャンクション案内標識、休憩施設案内標識取替の規制協議用図を作成するもの。</p> <p>図面の修正率：10%未満</p> <p>図面の区分：比較的簡易な図面</p>
A 2	<p>設計協議説明用図面作成 B で作成した施工計画図を基に、東京外環自動車道_内回り KP47.8、東北自動車道_KP20.1、常磐自動車道_KP20.2、京葉道路_KP20.0 及び東関東自動車道_KP11.5 のジャンクション案内標識、休憩施設案内標識取替の施工計画図を作成するもの。</p> <p>図面の修正率：10%未満</p>

	図面の区分：比較的複雑な図面
A 3	<p>貸与した平面図及び標識のレイアウト図を基に、共通仕様書 5－9－1「基本設計」(4)平面図作成に従って、八潮 P A 及び東埼玉道路の完成に伴う本業務の標識を対象とした、東京外環自動車道(外回り_KP1.8、KP2.8、KP10.3、KP19.4、及び内回り_KP47.8)、関越自動車道 KP16.6、東北自動車道 KP20.1、常磐自動車道 KP20.2、東関東道路 KP11.5、京葉道路 KP20.0 の平面図を作成するもの。</p> <p>図面の修正率：10%未満</p> <p>図面の区分：比較的簡易な図面</p>

2－9 設計打合せ

本業務における打合せの回数は部分使用検査、業務内容確認検査及び完了検査を含め 6 回とする。打合せの検測数量は 1 式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱い監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社関東支社または、さいたま工事事務所で行うものとする。ただし、打合せの場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

2－10 交通費・日当・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費・日当には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費・日当を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費・日当の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・日当・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2－11 成果品

報告書の表紙は、茶色、黒文字製本とする。

第3章 補足事項

3-1 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和5年10月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書「1-23 立会い及び検査」に定める立会い及び検査について、デジタル通信技術を活用し遠隔地からの確認、検査及び立会いの実施により、受注者及び発注者の調査等管理業務の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。

3-2 PA・JCT・東埼玉道路名の変更について

PA名、JCT名及び東埼玉道路名称は仮称であり、変更となる場合がある。それに伴い標識レイアウトの修正が必要になる場合がある。これに要する費用は監督員と受注者で協議し定めるものとする。

3-3 設計図書の変更及び追加について

照査の結果、標識板・標識柱の変更及び既設橋梁の照査等が必要となった場合には別途追加する場合がある。これに要する費用は監督員と受注者で協議定めるものとする。